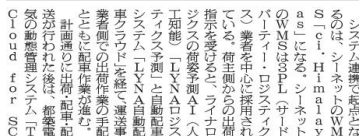


商流・物流
ダイレクト連携

出荷指示→配車計画→納品処理
シームレスに



流側の管理システムが連携していないためだ。

今回の3社の連携は「商流」と物流の融合を目指すものであり、「WMS—TMS—動態管理」の連携で、トラックと倉庫のバース管理やマテハン、動態管理と検品の連携で業務効率化を図

「サービスとは、この連
携で、サービスのデジタル
化を、都築賢蔵では、精兵先
鋒」のWMS運用を進め
ることでサービスの向上を
ライオナリックスは美蘭デー
ターの蓄積による精度向上を
図っている。
システムと連携の誤差検証
として、

下連携

M)による配法作業のリアルタイム監視とともに、納品先に納品製品データを生成・蓄存・提供するシステム連携が期待できる効果は、①ラックの待

手を向うまわす。無断な入力を可能にした。こうした全体的な自動化により、サプライチェーン（供給網）の最適化を実現し得る。

連携による荷物の効果として、ラナロックスの外社仕入（段ボールマシーン）と同一の工場（マシーン）と同一に、対応できるような新たな工場を、国内新設の「ECC（生産取組）」B to C（企業・消費者）プラットフォームでより高層入